

炭酸飲料の泡立ちと温度の関係

1 研究の目的・調べること

温度による二酸化炭素の放出量の違いを調べる

2 準備するもの

費用の目安：300円程度

- 同じ炭酸飲料 3本（未開封）
- 温度計
- はかり、ストップウォッチ、洗面台やバケツ

3 実験・観察の手順

1. 同じ炭酸飲料を冷蔵・常温・ぬるま湯で3種類の温度にする。
2. それぞれの温度を温度計で測って記録する。
3. 同じ回数・同じ強さで振り、フタを開けたときの泡を観察する。
4. 開ける前後の重さを量ると、抜けた二酸化炭素の量がわかる。
5. 温度と泡の量・重さの減り方をグラフにする。※屋外か流しで行う。

4 【結果】 — 実験のあとに記入

ここに結果の写真やグラフを貼る／表や数値を書きこむ

5 【考察・感想】 — 実験のあとに記入

わかったこと・感じたこと・次に調べてみたいことを書く